

発塵抑制型 石灰系固化材

ドライムソフトLS



Yoshizawa

概要

本製品は、生石灰粉末に改良効果を高める添加材を配合し、防塵処理を施した「発塵抑制型石灰系固化材」です。セメント不含有で、製品散布時に発生する発塵を抑制します。

仕様

粒度・荷姿

製品名	粒度	荷姿	種類
ドライムソフトLS	0～5 mm	1 t フレコン	生石灰系

特徴

- ・発塵抑制型のため、製品散布時に発生する発塵を抑制します。
- ・生石灰と同等の改良効果が得られます。
- ・セメント不含有ですので、六価クロム溶出試験は不要です。
- ・脱水作用が瞬時に働き、軟弱土の性状を急速に改善します。
- ・粘性土でも混合し易く、白色系で対象土との混合程度が明瞭に把握できます。
- ・対象土の塑性指数を低下させ、土粒子の団粒化を促進して締固め性を改善します。
- ・安定処理土の養生管理は容易で、安定処理土のストック対応が可能です。
- ・安定処理土は治癒性があり、乱しても再固化性が期待できます。
- ・安定処理土は長期にわたり強度が増加します。

種類・対象土

適用土質

	礫質土 [G]	砂質土 [S]	シルト [M]	粘土 [C]	火山灰質 粘性土 [V]	有機質土 [O]
低 ↑ 含水比 ↓ 高						

主な用途

用途・強度指標

用途	強度指標
路体(盛土)のトラフィカビリティの改良	コーン指数 q_c
路床の改良	CBR
構造物基礎地盤の改良	一軸圧縮強さ q_u
重機転倒防止の地盤改良	一軸圧縮強さ q_u
発生土の改良	コーン指数 q_c

発塵量

高さ70cmからの落下試験比較

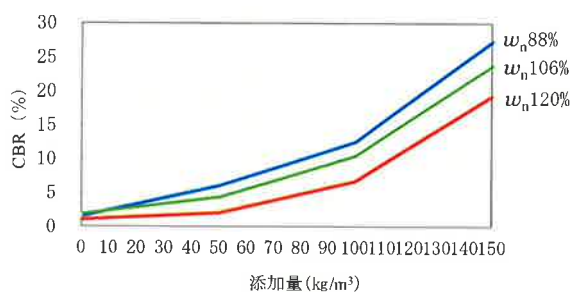
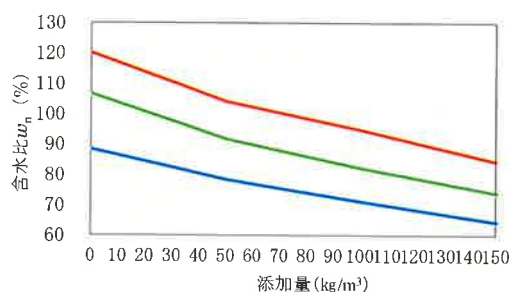


ドライムソフトLS



生石灰

配合試験データ例

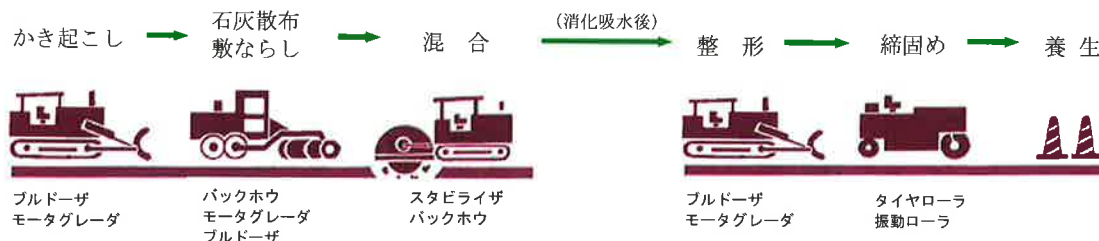


ドライムソフトLS添加量と含水比の関係【火山灰質粘性土】

ドライムソフトLS添加量とCBRの関係【火山灰質粘性土】

施工方法

浅層安定処理（路上混合）



- ・混合時は、生石灰と土中水との消化反応が始まらない早い時期に速やかに固化材粒子を土中に分散させる様な施工を心掛けて下さい。
- ・混合回数は、本製品を含む粉状の生石灰(0-5mm)の場合、1回の混合で済ませてよいのですが、未消化の生石灰が残っていないか確認して下さい。

取り扱い方法

- ①本製品の添加量が多い、または対象土の含水比が高い場合、混合時に生石灰と土中水との消化反応により水蒸気とともに消石灰等が飛散する恐れがあります。
- ②水と反応して発熱し発火する危険性があるため、保管は、水にぬれないように十分留意した上で周囲に可燃物を置かず保管し、保管の際はシート掛け・嵩上げ等を行って下さい。
- ③作業には、保護メガネ・保護手袋・保護マスクを着用して下さい。
- ④目に入った場合は、きれいな水で目を十分に洗浄し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ⑤皮膚についた場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。
- ⑥多量に吸入した場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ⑦フレコンの荷卸しや運搬時の取り扱いは、正しく丁寧に行って下さい。
- ⑧フレコンの吊荷の下には、絶対に人が入らないようにして下さい。
- ⑨**ドライムソフトLS**は生石灰（酸化カルシウム80%以上を含有するもの）をベースにしたものです。酸化カルシウム80%以上を含有する製品の500kg以上の取扱いまたは貯蔵については、最寄りの消防署への届出が必要です。



本 社 〒327-0592

栃木県佐野市宮下町7-10

TEL0283(84)1112 FAX0283(84)1122

東北支店 〒980-0803

宮城県仙台市青葉区国分町1-7-18

東洋ワークビル7階2E

TEL022(796)6863 FAX022(796)6864